

平家物語

地唄舞と平曲＋仲間たちで綴る

THE TALE OF
HEIKE



祇園精舎・千鳥（俊寛）・八島

尼御前・先帝入水・二位の尼
六道

那須の与一

日時：令和3年11月28日(日)
14時開演（13時開場）

場所：国立劇場小劇場

〒102-8656 千代田区隼町4番1号【電話】03-3265-7411

入場料：5,000円

問合せ先：(社)地唄舞普及協会【電話】080-3933-8731【Fax】03-3444-0058

Jiutamai.fukyu@gmail.com

チケット購入：国立劇場チケット売り場・(社)地唄舞普及協会

ARTS
ARTS for the future!

物語

平家

仲間たちで綴る



菊 央 雄 司

平曲



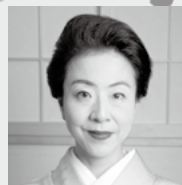
花 崎 杜 季 女

地唄舞



花 崎 し の

地唄舞



花 崎 叶 和

地唄舞



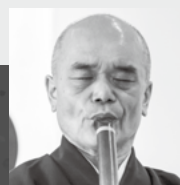
石 村 み か

物語進行



井 上 満 智 子

地唄三味線



石 川 利 光

尺八



増 田 鈴

地唄舞

平家物語

日本の鎌倉時代の軍記物語で、琵琶法師の語りで、語り継がれて芸能となっていました。

平清盛という稀代の英雄であり悪行の者の出現から、「平家にあらざるば人にあらざる」とまで言われました。平家一門の滅亡までが描かれています。全編を通して当時の仏教の死生観、西方浄土への信仰が大きく影響を及ぼしています。

地唄舞

地唄舞は、白拍子の流れを汲む舞から派生し、江戸時代後期より、現在の二畳の空間で無限の世界を描く舞の型と世界観が出来上がってきました。制限された動きで濃縮された美を表現します。朗読のように、その人自身の思いを語る、その人自身の滲み出る個性が出るところに面白さがあるのではないのでしょうか。

平家（平曲）

耳なし芳一で有名な琵琶法師は、中世の頃から琵琶を伴奏に物語を語り、中でも平家物語を専門に語るものは平家平曲と呼ばれておりました。実は平家物語は文学作品になる前から琵琶法師により口伝伝承の語りものの音楽として成立し、その後、能や歌舞伎など様々な日本の芸能に取り込まれることになります。

- 新型コロナウイルス対策のため、本公演は全て指定席とさせていただきます。
- チケットをお買い求め頂いた方に、連絡先の登録をお願いいたします。

- 当日は、入口での検温と消毒、マスク着用をお願いいたします。
- 出演者は、感染検査を行い、マスク着用はしない予定です。
- 公演がキャンセルとなった場合は全額返金させていただきます。